

令和3年度(2021)年度

青梅市の地域公共交通に関するアンケート

【速報値】

〈目 次〉

1. あなたのお住まいや世帯などについて	1
Q1. 住所を教えてください。	
Q2. 世帯構成を教えてください。	
Q3. ご自宅から、普段徒歩で利用できる施設を教えてください。	
Q4. 性別を教えてください。	
Q5. 年齢を教えてください。	
Q6. 職業を教えてください。	
Q7. 自動車の運転免許証は所持されていますか。	
Q8. 自動車やバイク、自転車など、普段自由に利用できるものは何ですか。	
Q9. 新型コロナウイルス感染症流行で地域公共交通の利用頻度は変わりましたか。	
Q10. 新型コロナウイルス感染症流行が収束したあと、あなたの日常生活や社会生活の中で、以前とくらべ変化すると思われる生活様式はありますか。	
2. 日常生活における「外出時の移動」について	5
Q11. 日常生活での「外出時の移動」で、困っていますか。	
Q12. 「外出時の移動」で、困っている、不便を感じているのは、どのような場合ですか。	
12-1 出発地	
12-2 目的地	
12-3 移動目的	
12-4 出発時刻	
12-5 頻度	
Q13. 「外出時の移動」で、困っている、不便を感じているのは、なぜですか。	
3. 「鉄道」と「路線バス」利用について	6
Q14. 自宅からの鉄道利用について教えてください。	
14-1 普段、鉄道を利用しますか	
14-2 最寄りの鉄道駅の名称	
14-3 最寄りの鉄道駅までの主な交通手段	
14-4 最寄りの鉄道駅までの所要時間	
14-5 鉄道の利用目的	
14-6 鉄道の乗車時刻	
14-7 鉄道の利用頻度	
Q15. 自宅からの路線バス利用について教えてください。	
15-1 普段、路線バスを利用しますか	
15-2 最寄りのバス停の名称	
15-3 最寄りのバス停までの所要時間	
15-4 行き先(目的地)のバス停の名称	
15-5 路線バスの利用目的	
15-6 路線バスの乗車時刻	
15-7 路線バスの利用頻度	
Q16. 利用する路線バスの「サービス内容」についての満足度を教えてください。	
Q17. 青梅市内の「現在の路線バスのサービス」について、改善要望がありましたら具体的にご記入ください。	

4.「JR青梅線」と青梅市内の「タクシー」について 9

Q18. JR青梅線を利用しやすくするために必要なことは何ですか。

Q19. タクシーを利用しやすくするために必要なことは何ですか。

5. 青梅市内の「路線バスの今後の維持・継続」について 9

Q20. あなたの世帯にとって、地域を運行する路線バスの必要性を、どのように思いますか。

Q21. 青梅市内路線バスの運行を維持するための公共負担について、どのように思いますか。

21-1 青梅市の路線バスに関する公共負担の状況について、ご存じでしたか。

21-2 現在の、路線バスを維持するための公共負担について、どのように思いますか。

Q22. 日常生活を送る上で、路線バスを利用するとしたら、どの程度の運行本数が必要ですか。

6.「市内の地域公共交通」全般について 10

Q23. 鉄道、路線バス、タクシーの利用を活性化させるためには、市民の参加や協力が欠かせません。

市民参加型の公共交通利用促進策について、関心があるものはありますか。

〈アンケート対象〉
青梅市民

〈実施期間〉
2022(令和4)年2月5日(土)～2月25日(金)

〈配付・回収状況〉

	郵送	ウェブ	計
配付数	3,000票		
有効配布数	2,991票		
回収数	973票	186票(※)	1,159票
回答者数	1,801人	346人	2,147人
有効回収率	32.5%	6.2%	38.7%
回答者数／回収数	1.85	1.86	1.85

※188票の回答があったが、2票は未記入

町丁



一部拡大



令和3年度（2021）年度
青梅市の地域公共交通に関するアンケート
《集計結果》

対象は、入力済みの回収数1,116票、回答者数2,071人となります。また、一部、集計ができていない部分があります。

1. お住まいや世帯など（属性）

Q1. 住所（世帯）

SA	実数	-	1丁目	2丁目	3丁目	4丁目	5丁目	6丁目	7丁目	8丁目	9丁目	10丁目	無回答	計
1	勝沼	-	3	8	1	-	-	-	-	-	-	-	0	12
2	西分町	-	2	0	3	-	-	-	-	-	-	-	2	7
3	住江町	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
4	本町	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
5	仲町	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
6	上町	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
7	森下町	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
8	裏宿町	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
9	天ヶ瀬町	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
10	滝ノ上町	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
11	大柳町	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
12	日向和田	-	6	7	5	-	-	-	-	-	-	-	5	23
13	駒木町	-	8	4	2	-	-	-	-	-	-	-	3	17
14	長淵	-	9	13	10	10	3	2	8	4	0	-	1	60
15	友田町	-	4	9	7	10	7	-	-	-	-	-	1	38
16	千ヶ瀬町	-	15	8	9	4	14	7	-	-	-	-	5	62
17	吹上	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
18	野上町	-	5	14	16	11	-	-	-	-	-	-	10	56
19	大門	-	15	9	15	-	-	-	-	-	-	-	1	40
20	塩船	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
21	谷野	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
22	木野下	-	7	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11
23	今寺	-	7	3	10	5	7	-	-	-	-	-	2	34
24	東青梅	-	7	12	20	12	17	8	-	-	-	-	3	79
25	根ヶ布	-	7	8	-	-	-	-	-	-	-	-	0	15
26	師岡町	-	12	16	1	8	-	-	-	-	-	-	5	42
27	新町	-	20	14	21	15	17	3	21	7	16	-	8	142
28	末広町	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3	8
29	河辺町	-	13	11	3	12	11	20	18	12	13	16	10	139
30	藤橋	-	3	16	6	-	-	-	-	-	-	-	0	25
31	今井	-	13	14	13	0	0	-	-	-	-	-	1	41
32	畑中	-	4	7	4	-	-	-	-	-	-	-	0	15
33	和田町	-	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9
34	梅郷	-	5	5	2	5	12	10	-	-	-	-	1	40
35	柚木町	-	5	8	2	-	-	-	-	-	-	-	4	19
36	二俣尾	-	2	5	6	6	1	-	-	-	-	-	0	20
37	沢井	-	0	1	1	-	-	-	-	-	-	-	0	2
38	御岳本町	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
39	御岳	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	0	5
40	御岳山	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
41	富岡	-	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	0	8
42	小曾木	-	1	0	8	5	3	-	-	-	-	-	1	18
43	黒沢	-	5	5	6	-	-	-	-	-	-	-	0	16
44	成木	-	4	4	3	1	1	2	1	2	-	-	1	19
	無回答												15	15
	合計(人)	79	192	219	175	104	93	52	48	25	29	16	84	1,116

Q1. 住所（世帯）

SA	割合	-	1丁目	2丁目	3丁目	4丁目	5丁目	6丁目	7丁目	8丁目	9丁目	10丁目	無回答	計
1	勝沼	-	0.3%	0.7%	0.1%	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	1.1%
2	西分町	-	0.2%	0.0%	0.3%	-	-	-	-	-	-	-	0.2%	0.6%
3	住江町	0.2%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2%
4	本町	0.6%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.6%
5	仲町	0.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3%
6	上町	0.1%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1%
7	森下町	0.4%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.4%
8	裏宿町	0.8%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8%
9	天ヶ瀬町	1.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0%
10	滝ノ上町	0.4%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.4%
11	大柳町	1.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.3%
12	日向和田	-	0.5%	0.6%	0.4%	-	-	-	-	-	-	-	0.4%	2.1%
13	駒木町	-	0.7%	0.4%	0.2%	-	-	-	-	-	-	-	0.3%	1.5%
14	長淵	-	0.8%	1.2%	0.9%	0.9%	0.3%	0.2%	0.7%	0.4%	0.0%	-	0.1%	5.4%
15	友田町	-	0.4%	0.8%	0.6%	0.9%	0.6%	-	-	-	-	-	0.1%	3.4%
16	千ヶ瀬町	-	1.3%	0.7%	0.8%	0.4%	1.3%	0.6%	-	-	-	-	0.4%	5.6%
17	吹上	1.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0%
18	野上町	-	0.4%	1.3%	1.4%	1.0%	-	-	-	-	-	-	0.9%	5.0%
19	大門	-	1.3%	0.8%	1.3%	-	-	-	-	-	-	-	0.1%	3.6%
20	塩船	0.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3%
21	谷野	0.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5%
22	木野下	-	0.6%	0.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1%	1.0%
23	今寺	-	0.6%	0.3%	0.9%	0.4%	0.6%	-	-	-	-	-	0.2%	3.0%
24	東青梅	-	0.6%	1.1%	1.8%	1.1%	1.5%	0.7%	-	-	-	-	0.3%	7.1%
25	根ヶ布	-	0.6%	0.7%	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	1.3%
26	師岡町	-	1.1%	1.4%	0.1%	0.7%	-	-	-	-	-	-	0.4%	3.8%
27	新町	-	1.8%	1.3%	1.9%	1.3%	1.5%	0.3%	1.9%	0.6%	1.4%	-	0.7%	12.7%
28	末広町	-	0.2%	0.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3%	0.7%
29	河辺町	-	1.2%	1.0%	0.3%	1.1%	1.0%	1.8%	1.6%	1.1%	1.2%	1.4%	0.9%	12.5%
30	藤橋	-	0.3%	1.4%	0.5%	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	2.2%
31	今井	-	1.2%	1.3%	1.2%	0.0%	0.0%	-	-	-	-	-	0.1%	3.7%
32	畑中	-	0.4%	0.6%	0.4%	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	1.3%
33	和田町	-	0.2%	0.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1%	0.8%
34	梅郷	-	0.4%	0.4%	0.2%	0.4%	1.1%	0.9%	-	-	-	-	0.1%	3.6%
35	柚木町	-	0.4%	0.7%	0.2%	-	-	-	-	-	-	-	0.4%	1.7%
36	二俣尾	-	0.2%	0.4%	0.5%	0.5%	0.1%	-	-	-	-	-	0.0%	1.8%
37	沢井	-	0.0%	0.1%	0.1%	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	0.2%
38	御岳本町	0.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3%
39	御岳	-	0.2%	0.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	0.4%
40	御岳山	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
41	富岡	-	0.4%	0.3%	0.1%	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	0.7%
42	小曾木	-	0.1%	0.0%	0.7%	0.4%	0.3%	-	-	-	-	-	0.1%	1.6%
43	黒沢	-	0.4%	0.4%	0.5%	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	1.4%
44	成木	-	0.4%	0.4%	0.3%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%	-	-	0.1%	1.7%
無回答													1.3%	1.3%
合計(人)		7.1%	17.2%	19.6%	15.7%	9.3%	8.3%	4.7%	4.3%	2.2%	2.6%	1.4%	7.5%	100%

Q2. 世帯構成（世帯）

SA		実数	割合
1	一世代（一人）	124	11.1%
2	一世代（二人以上）	483	43.3%
3	二世帯（親と子など）	427	38.3%
4	三世帯（親と子と孫など）	61	5.5%
5	その他	3	0.3%
無回答		18	1.6%
合計(人)		1,116	100%

世帯構成は、「一世代（二人以上）」の43.3%が最も多く、「二世帯」の38.3%が続きます。

一人あたりのトリップ数が高くなる傾向になる「一世代（一人暮らし）」は1割ほどです。

Q3. 徒歩で利用できる施設（世帯）

MA		実数	割合
1	スーパーや大型店	664	59.5%
2	コンビニ	922	82.6%
3	商店会（商店街）	143	12.8%
4	病院	316	28.3%
5	医院・クリニック・診療所	581	52.1%
6	郵便局	633	56.7%
7	市役所・市役所出張所	305	27.3%
8	市民センター	473	42.4%
9	警察署・交番・駐在所	518	46.4%
10	図書館	444	39.8%
11	文化・学習施設	93	8.3%
12	公園	703	63.0%
13	スポーツ施設	166	14.9%
14	レクリエーション施設	64	5.7%
	無回答	42	3.8%
	合計(人)	1,116	100%
	無回答除く合計(件)	6,025	-

自宅から徒歩で利用できる施設は、「コンビニ」が最も多く82.6%です。次いで公園の63.0%、「スーパーや大型店」の59.5%が続きます。

日常の外出で買い物は、コンビニを除くと4割の人は徒歩以外の交通手段となります。

また、医院・クリニック・診療所は52.1%、病院は28.3%であることから、通院の多くは徒歩以外の交通手段となります。

Q4. 性別（個人）

SA		実数	割合
1	女性	1,086	52.4%
2	男性	910	43.9%
3	回答しない	24	1.2%
4	その他	1	0.0%
	無回答	50	2.4%
	合計(人)	2,071	100%

Q5. 年齢（個人）

SA		実数	割合
1	18歳未満	14	0.7%
2	18～19歳	21	1.0%
3	20～29歳	119	5.7%
4	30～39歳	147	7.1%
5	40～49歳	287	13.9%
6	50～59歳	420	20.3%
7	60～69歳	470	22.7%
8	70～74歳	363	17.5%
9	75歳以上	204	9.9%
	無回答	26	1.3%
	合計(人)	2,071	100%

年齢は、「60歳代」の22.7%が最も多く、「50歳代」の20.3%が続きます。

60歳以上は50.1%となります。一方、青梅市の令和4年2月現在の人口構成は、60歳以上で37.7%です。このため、本アンケートは60歳以上の意向に偏りがあるということになります。

Q6. 職業（個人）

SA		実数	割合
1	会社員等の勤め人	694	33.5%
2	自営業	151	7.3%
3	パート、アルバイト	356	17.2%
4	専業主婦（夫）	284	13.7%
5	高校生	12	0.6%
6	高校生以外の学生・生徒・児童	49	2.4%
7	無職	447	21.6%
8	その他	20	1.0%
	無回答	58	2.8%
	合計(人)	2,071	100%

職業は、「会社員等の勤め人」の33.5%が最も多く、「無職」の21.6%が続きます。

高校生の回答は12人、高校生以外の学生等は49人です。

Q7. 運転免許証（個人）

SA		実数	割合
1	所持している	1,701	82.1%
2	所持しているが、自主返納を考えている	26	1.3%
3	所持していたが、自主返納した	51	2.5%
4	所持していない（免許更新せず失効した方を含む）	273	13.2%
	無回答	20	1.0%
	合計(人)	2,071	100%

自動車の運転免許証は、「所持している」が圧倒的に多く82.1%です。令和2年度に実施した河辺町1～3丁目へのアンケートでは72.2%でしたので、10ポイントほど高くなります。所持していない人は、15.7%になります。

Q8. 自動車やバイク、自転車など、普段自由に利用できるもの（個人）

MA		実数	割合
1	自分で運転する自動車を持っている	1421	68.6%
2	乗せてもらう自動車がある	448	21.6%
3	バイクを持っている	125	6.0%
4	自転車を持っている	794	38.3%
5	利用できる乗り物は持っていない	133	6.4%
6	その他	10	0.5%
	無回答	20	1.0%
	合計(人)	2,071	100%
	無回答除く合計(件)	2,931	-

乗り物がある人は、「自分で運転する自動車」の68.7%が最も多く、「自転車」の38.3%が続きます。「自分で運転する自動車」と「乗せてもらう自動車」をあわせると、90.2%になります。

Q9. 新型コロナウイルス感染症流行による地域公共交通の利用頻度の変化（個人）

SA		実数	割合
1	あまり変わらない	1,332	64.3%
2	増えた	26	1.3%
3	1～2割ほど減った（少し減った）	205	9.9%
4	3～4割ほど減った	126	6.1%
5	5割以上減った	337	16.3%
	無回答	45	2.2%
	合計(人)	2,071	100%

公共交通利用に対するコロナ禍の影響は、「あまり変わらない」の64.3%が最も多く、「5割以上減った」の16.3%が続きます。「減った」とする回答をあわせると、32.3%になります。

Q10. 新型コロナウイルス感染症流行が収束したあとの生活様式の変化（個人）

MA		実数	割合
1	外出の控え	1012	48.9%
2	在宅勤務	130	6.3%
3	インターネット・宅配等による買い物	282	13.6%
4	在宅学習	48	2.3%
5	変わらない	900	43.5%
	無回答	40	1.9%
	合計(人)	2,071	100%
	無回答除く合計(件)	2,372	-

コロナ禍による生活様式の変化は、「外出の控え」の48.9%が最も多く、「変わらない」の43.5%が続きます。「在宅勤務」は6.3%、「在宅学習」は2.3%です。

2. 日常生活における「外出時の移動」について

Q11. 日常生活での「外出時の移動」で、困っていますか（個人）

SA		実数	割合
1	困っている	289	14.0%
2	困っていない	1,718	83.0%
	無回答	64	3.1%
	合計(人)	2,071	100%

日常の外出で、「困っていない」が83.0%と多い状況にあります。
「困っている」は14.0%です。

Q12. 日常生活での「外出時の移動」で、困っている場合の移動内容（個人）

※Q11：困っている人

1. 出発地

SA		実数	割合
1	自宅	239	82.7%
2	その他	5	1.7%
	無回答	45	15.6%
	合計(人)	289	100%

困っている人の出発地は、「自宅」が多く82.7%になります。

Q12. 日常生活での「外出時の移動」で、困っている場合の移動内容（個人）

※Q11：困っている人

3. 移動目的

SA		実数	割合
1	通勤	69	23.9%
2	通学	12	4.2%
3	買物	95	32.9%
4	通院	57	19.7%
5	その他	29	10.0%
	無回答	27	9.3%
	合計(人)	289	100%

困っている人の移動目的は、「買い物」の32.9%が最も多く、「通勤」の23.9%、「通院」の19.7%が続きます。

Q12. 日常生活での「外出時の移動」で、困っている場合の移動内容（個人）

※Q11：困っている人

5. 頻度

SA		実数	割合
1	週5日以上	53	18.3%
2	週3～4日	54	18.7%
3	週1～2日	79	27.3%
4	週1日未満	67	23.2%
	無回答	36	12.5%
	合計(人)	289	100%

困っている人の外出頻度は、「週1～2日」の27.3%が最も多く、「週1日未満」の23.2%、「週3～4日」の18.7%が続きます。
週3日以上でみると、37.0%になります。

Q13. 「外出時の移動」で、困っている、不便を感じている内容（個人）

※Q11：困っている人

MA		実数	割合
1	交通手段がなく、徒歩や自転車利用は大変	116	40.1%
2	交通手段がなく、送迎やタクシーが必要	61	21.1%
3	路線バスはあるが、希望の時間に合わない	147	50.9%
4	自宅などの出発地から、利用するバス停が遠い	68	23.5%
5	施設などの目的地から、利用するバス停が遠い	34	11.8%
6	どこに行くにも坂があるため、大変	113	39.1%
7	近くに病院やスーパー・コンビニがない	102	35.3%
8	身体に障がいがあり、路線バスを利用しづらい	22	7.6%
9	その他	34	11.8%
	無回答	18	6.2%
	合計(人)	289	100%
	無回答除く合計(件)	697	-

困っている人の理由は、「路線バスはあるが、希望の時間に合わない」の50.9%が最も多く、「交通手段がなく、徒歩や自転車利用は大変」の40.1%、「どこに行くにも坂があるため、大変」の39.1%が続きます。

交通手段がない、または遠いことを問題としているのは、96.5%になります。

路線バスを問題としているのは、93.8%になります。

坂を問題としているのは、39.1%です。

※平成23年度調査では、「路線バスはあるが、希望の時間に合わない」が最も多く、ついで「交通手段がなく、徒歩や自転車利用は大変」が多いという結果でしたので、今回も同様です。

3. 「鉄道」と「路線バス」の利用について

Q14. 自宅からの鉄道利用について（個人）

1. 普段の鉄道利用

SA		実数	割合
1	利用する	1,039	50.2%
2	利用しない	988	47.7%
	無回答	44	2.1%
	合計(人)	2,071	100%

自宅からの鉄道利用は、「利用する」が50.2%で、「利用しない」が47.7%です。

Q14. 自宅からの鉄道利用について（個人）

※Q14-1：鉄道を利用する人

2. 最寄りの駅名

SA	路線	駅	実数	割合
1	JR青梅線	青梅駅	129	12.4%
2		東青梅駅	179	17.2%
3		河辺駅	321	30.9%
4		宮ノ平駅	24	2.3%
5		日向和田駅	43	4.1%
6		石神前駅	4	0.4%
7		二俣尾駅	24	2.3%
8		軍畑駅	3	0.3%
9		沢井駅	3	0.3%
10		御嶽駅	5	0.5%
11		小作駅	255	24.5%
12		羽村駅	1	0.1%
13		川井駅	0	0.0%
14	JR八高線	金子駅	7	0.7%
15	御岳登山鉄道	滝本駅	0	0.0%
16		御岳山駅	0	0.0%
17	西武池袋線	飯能駅	3	0.3%
	無回答		38	3.7%
	合計(人)		1,039	100%

自宅からの鉄道利用で、「利用する」と回答した人の最寄り駅は、「河辺駅」の30.9%が最も多く、「小作駅」の24.5%、「東青梅駅」の17.2%、「青梅駅」の12.4%が続きます。

青梅駅より西側のJR青梅線の市内の駅をあわせると、10.2%になります。

Q14. 自宅からの鉄道利用について（個人）

※Q14-1：鉄道を利用する人

3. 駅までの交通手段

SA		実数	割合
1	徒歩	564	54.3%
2	自転車	129	12.4%
3	バイク	15	1.4%
4	自家用車	105	10.1%
5	路線バス	161	15.5%
6	家族の送迎	48	4.6%
7	タクシー	5	0.5%
8	その他	1	0.1%
	無回答	11	1.1%
	合計(人)	1,039	100%

自宅からの鉄道利用で、「利用する」と回答した人の駅までの交通手段は、「徒歩」の54.3%が最も多い状況にあります。そのほかでは、「路線バス」の15.5%、「自転車」の12.4%、「自家用車」の10.1%が続きます。

Q14. 自宅からの鉄道利用について（個人）

※Q14-1：鉄道を利用する人

4. 駅までの所要時間

SA		実数	割合
1	5分未満	62	6.0%
2	5～10分未満	184	17.7%
3	10～20分未満	610	58.7%
4	20～30分未満	123	11.8%
5	30～45分未満	29	2.8%
6	45～60分未満	2	0.2%
7	60分以上	2	0.2%
	無回答	27	2.6%
	合計(人)	1,039	100%

自宅からの鉄道利用で、「利用する」と回答した人の駅までの所要時間は、「10～20分未満」の58.7%が最も多く、「5～10分未満」の17.7%、「20～30分未満」の11.8%が続きます。

Q14. 自宅からの鉄道利用について（個人）

※Q14-1：鉄道を利用する人

5. 鉄道の利用目的

SA		実数	割合
1	通勤	325	31.3%
2	通学	49	4.7%
3	買物	342	32.9%
4	通院	84	8.1%
5	その他	206	19.8%
	無回答	33	3.2%
	合計(人)	1,039	100%

自宅からの鉄道利用で、「利用する」と回答した人の利用目的は、「買物」の32.9%が最も多く、「通勤」の31.3%が続きます。

Q14. 自宅からの鉄道利用について（個人）

※Q14-1：鉄道を利用する人

7. 鉄道の利用頻度

SA		実数	割合
1	週5日以上	215	20.7%
2	週3～4日	107	10.3%
3	週1～2日	110	10.6%
4	週1日未満	501	48.2%
	無回答	106	10.2%
	合計(人)	1,039	100%

自宅からの鉄道利用で、「利用する」と回答した人の利用頻度は、「週1日未満」の48.2%が最も多く、「週5日以上」の20.7%が続きます。

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

1. 普段の路線バス利用

SA		実数	割合
1	利用する	450	21.7%
2	利用しない	1,572	75.9%
	無回答	49	2.4%
	合計(人)	2,071	100%

自宅からの路線バス利用は、「利用する」が21.7%で、「利用しない」が75.9%です。

※平成23年度調査の「利用する」は21%であり、同様の傾向にあります。

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

3. バス停までの所要時間

SA		実数	割合
1	3分未満	209	10.1%
2	3～5分未満	158	7.6%
3	5～7分未満	336	16.2%
4	7～10分未満	48	2.3%
5	10～15分未満	119	5.7%
6	15～20分未満	43	2.1%
7	20～25分未満	10	0.5%
8	25分以上	5	0.2%
	無回答	1,143	55.2%
	合計(人)	2,071	100%

自宅からバス停までの所要時間は、「5～7分未満」の16.2%が最も多く、「3分未満」の10.1%、「3～5分未満」の7.6%が続きます。

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

※Q15-1：路線バスを利用する人

5. 路線バスの利用目的

SA		実数	割合
1	通勤	111	24.7%
2	通学	11	2.4%
3	買物	136	30.2%
4	通院	62	13.8%
5	その他	103	22.9%
	無回答	27	6.0%
	合計(人)	450	100%

自宅からの路線バス利用で、「利用する」と回答した人の利用目的は、「買物」の30.2%が最も多く、「通勤」の24.7%が続きます。

参考まで鉄道の場合は、「買物」の32.9%が最も多く、「通勤」の31.3%が続き、同様の傾向がみられます。

Q15. 自宅からの路線バス利用について（個人）

※Q15-1：路線バスを利用する人

7. 路線バスの利用頻度

SA		実数	割合
1	週5日以上	37	8.2%
2	週3～4日	37	8.2%
3	週1～2日	69	15.3%
4	週1日未満	221	49.1%
	無回答	86	19.1%
	合計(人)	450	100%

自宅からの路線バス利用で、「利用する」と回答した人の利用頻度は、「週1日未満」の49.1%が最も多く、「週1～2日」の15.3%が続きます。

※平成23年度調査の「週5日以上」は15%、「週3～4日」は15%、「週1～2日」は25%、「週1日未満」は45%であり、週1日以上の割合が減少し、週1日未満の割合が増加するという結果になります。

Q16. 利用する路線バスのサービス内容について（個人）

※Q15-1：路線バスを利用する人

SA		1	2	3	4	5	無回答	合計 (人)	満足+ やや満足	やや不満 +不満
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満				
		実数								
1	時刻表や経路等の情報のわかりやすさ	105	56	186	36	16	51	450	161	52
2	運行経路、バスの行先	97	53	191	40	17	52	450	150	57
3	運行本数（平日）	40	31	112	135	86	46	450	71	221
4	運行本数（休日）	42	23	129	124	79	53	450	65	203
5	始発時刻（平日）	70	33	207	51	37	52	450	103	88
6	始発時刻（休日）	64	29	224	44	34	55	450	93	78
7	終発時刻（平日）	56	25	167	81	68	53	450	81	149
8	終発時刻（休日）	57	25	168	82	61	57	450	82	143
9	時刻表どおりの運行	72	69	161	71	27	50	450	141	98
10	運賃	61	39	222	55	21	52	450	100	76
11	バス停間隔（バス停位置）	83	47	240	21	6	53	450	130	27
12	鉄道との乗り継ぎ（場所）	102	61	190	27	19	51	450	163	46
13	鉄道との乗り継ぎ（時間）	57	31	170	86	53	53	450	88	139
14	バス停でのバス待ち環境	43	26	208	88	34	51	450	69	122
15	バス車両の乗降のしやすさ	83	52	234	26	6	49	450	135	32
	路線バスのサービス内容 全体	1,032	600	2,809	967	564	778	6,750	1,632	1,531
		割合								
1	時刻表や経路等の情報のわかりやすさ	23.3%	12.4%	41.3%	8.0%	3.6%	11.3%	100%	35.8%	11.6%
2	運行経路、バスの行先	21.6%	11.8%	42.4%	8.9%	3.8%	11.6%	100%	33.3%	12.7%
3	運行本数（平日）	8.9%	6.9%	24.9%	30.0%	19.1%	10.2%	100%	15.8%	49.1%
4	運行本数（休日）	9.3%	5.1%	28.7%	27.6%	17.6%	11.8%	100%	14.4%	45.1%
5	始発時刻（平日）	15.6%	7.3%	46.0%	11.3%	8.2%	11.6%	100%	22.9%	19.6%
6	始発時刻（休日）	14.2%	6.4%	49.8%	9.8%	7.6%	12.2%	100%	20.7%	17.3%
7	終発時刻（平日）	12.4%	5.6%	37.1%	18.0%	15.1%	11.8%	100%	18.0%	33.1%
8	終発時刻（休日）	12.7%	5.6%	37.3%	18.2%	13.6%	12.7%	100%	18.2%	31.8%
9	時刻表どおりの運行	16.0%	15.3%	35.8%	15.8%	6.0%	11.1%	100%	31.3%	21.8%
10	運賃	13.6%	8.7%	49.3%	12.2%	4.7%	11.6%	100%	22.2%	16.9%
11	バス停間隔（バス停位置）	18.4%	10.4%	53.3%	4.7%	1.3%	11.8%	100%	28.9%	6.0%
12	鉄道との乗り継ぎ（場所）	22.7%	13.6%	42.2%	6.0%	4.2%	11.3%	100%	36.2%	10.2%
13	鉄道との乗り継ぎ（時間）	12.7%	6.9%	37.8%	19.1%	11.8%	11.8%	100%	19.6%	30.9%
14	バス停でのバス待ち環境	9.6%	5.8%	46.2%	19.6%	7.6%	11.3%	100%	15.3%	27.1%
15	バス車両の乗降のしやすさ	18.4%	11.6%	52.0%	5.8%	1.3%	10.9%	100%	30.0%	7.1%
	路線バスのサービス内容 全体	15.3%	8.9%	41.6%	14.3%	8.4%	11.5%	100%	24.2%	22.7%

路線バスを利用する人のサービス内容についての満足度は、

「満足＋やや満足」の割合が30%以上は、高い順に、「鉄道との乗り継ぎ（場所）」、「時刻表や経路等の情報のわかりやすさ」、「運行経路、バスの行先」、「バス車両の乗降のしやすさ」となります。

「やや不満＋不満」の割合が30%以上は、高い順に、「運行本数（平日）」、「運行本数（休日）」、「終発時刻（平日）」、「終発時刻（休日）」、「鉄道との乗り継ぎ（時間）」となります。

※平成23年度調査の「満足＋やや満足」と比較すると、

- ・「運行経路、バスの行先」が56%から33.3%に減少
- ・「始発時刻（平日）」が35%から22.9%に減少
- ・「始発時刻（休日）」が33%から20.7%に減少

※平成23年度調査の「やや不満＋不満」と比較すると、

- ・「運行本数（平日）」が42%から49.1%に増加
- ・「運行本数（休日）」が39%から45.1%に増加
- ・「バス停でのバス待ち環境」が34%から27.1%に減少

4. 「ＪＲ青梅線」と青梅市内の「タクシー」について

Q18. ＪＲ青梅線を利用しやすくするために必要なこと（個人）

MA		実数	割合
1	運行本数を増やす	683	33.0%
2	始発便をもっと早くする	133	6.4%
3	終発便をもっと遅くする	190	9.2%
4	青梅特快を増便する	889	42.9%
5	遅延しない	303	14.6%
6	駅施設の改善	399	19.3%
7	特になし（現状のままでよい）	620	29.9%
8	その他	105	5.1%
	無回答	123	5.9%
	合計(人)	2,071	100%
	無回答除く合計(件)	3,322	-

ＪＲ青梅線を利用しやすくするために必要なことは、「青梅特快を増便する」の42.9%が最も多く、「運行本数を増やす」の33.0%、「特になし（現状のままでよい）」の29.9%が続きます。

Q19. タクシーを利用しやすくするために必要なこと（個人）

MA		実数	割合
1	予約しやすくする	479	23.1%
2	車両の乗降が楽にできる	157	7.6%
3	車いすの乗降ができる	156	7.5%
4	定額運賃制度（※）の導入	660	31.9%
5	特になし（現状のままでよい）	879	42.4%
6	その他	130	6.3%
	無回答	167	8.1%
	合計(人)	2,071	100%
	無回答除く合計(件)	2,461	-

タクシーを利用しやすくするために必要なことは、「特になし（現状のままでよい）」の42.4%が最も多く、「定額運賃制度の導入」の31.9%、「予約しやすくする」の23.1%が続きます。

※指定された乗車エリアから目的地まで、あらかじめ決められた定額運賃でタクシーを利用できる制度

5. 青梅市内の「路線バスの今後の維持・継続」について

Q20. 地域を運行する路線バスの必要性について（世帯）

MA		実数	割合
1	家族の日常生活には、なくてはならない交通手段である	211	18.9%
2	普段は利用していないが、必要な時にないと困る	671	60.1%
3	現在は必要ないが、将来クルマを運転できなくなったときにないと困る	675	60.5%
4	自分の世帯には直接必要ないが、駅から遠い人やクルマのない人には必要である	600	53.8%
5	あまり必要性を感じない	32	2.9%
6	わからない	6	0.5%
	無回答	41	3.7%
	合計(人)	1,116	100%
	無回答除く合計(件)	2,195	-

路線バスの必要性は、「将来ないと困る」の60.5%と、「必要な時にないと困る」の60.1%が多く、「駅から遠い人やクルマのない人には必要」の53.8%が続きます。

Q21. 青梅市の路線バスに関する公共負担について（世帯）

1. 青梅市の路線バスに関する公共負担の状況について

SA		実数	割合
1	知っていた	261	23.4%
2	路線バスの赤字は知っていたが、赤字への補助（公共負担）は知らなかった	266	23.8%
3	知らなかった	562	50.4%
	無回答	27	2.4%
	合計(人)	1,116	100%

路線バスへの公共負担は、「知らなかった」をあわせると74.2%になります。

※平成23年度調査では、あわせて77%でしたので、若干の減少はみられるものの、周知が浸透されているとはいえません。

Q21. 青梅市の路線バスに関する公共負担について（世帯）

2. 現在の路線バスを維持するための公共負担について

SA		実数	割合
1	さらに公共負担を増やし、路線バスを改善していくべき	113	10.1%
2	公共負担をこのまま継続して、路線バスを維持していくべき	396	35.5%
3	公共負担は必要だが、現在の補助額は高いと思うので、対策を講ずべき	363	32.5%
4	路線バスへの赤字補助は必要ない、廃止となってもやむを得ない	26	2.3%
5	わからない	119	10.7%
6	その他	62	5.6%
	無回答	37	3.3%
	合計(人)	1,116	100%

路線バスを維持するための公共負担は、「維持すべき」の35.5%が最も多く、「高いので対策を講ずべき」の32.5%が続きます。
※平成23年度調査では、前者は44%、後者は47%でした。

Q22. 日常生活を送る上で、路線バスを利用するとしたら、どの程度の運行本数が必要か（世帯）

SA		実数	割合
1	朝、夕にそれぞれ1本程度	44	3.9%
2	朝、昼、夕にそれぞれ1本程度	51	4.6%
3	朝、昼、夕にそれぞれ2本程度	127	11.4%
4	1時間に1本程度	211	18.9%
5	1時間に2本程度	393	35.2%
6	わからない	184	16.5%
7	その他	63	5.6%
	無回答	43	3.9%
	合計(人)	1,116	100%

路線バスについて希望する運行頻度は、「1時間に2本程度」の35.2%が最も多く、「1時間に1本程度」の18.9%が続きます。

※平成23年度調査では、前者は37%、後者は40%でしたので、逆転しています。

6. 「市内の地域公共交通」全般について

Q23. 市民参加型の公共交通利用促進策について、関心があるもの

MA		実数	割合
1	公共交通の写真展（駅やバス停、車両などの入った風景写真を募集）	179	8.6%
2	公共交通サポーター制度（※）	361	17.4%
3	公共交通検定（青梅市内の公共交通に関するご当地検定）	81	3.9%
4	J R 青梅線を活性化する応援隊（青梅市と近隣自治体が連携して J R 青梅線の利用を促進）	409	19.7%
5	その他	124	6.0%
	無回答	279	13.5%
	合計(人)	2,071	100%
	無回答除く合計(件)	1,154	-

※施設の清掃・美化やバス停敷地を提供してくれる町会や商店会、事業所、学校、有志などを募集

市民参加型の公共交通利用促進策は、「JR青梅線を活性化する応援隊」の19.7%が最も多く、「公共交通サポーター制度」の17.4%が続きます。